

平成26年度  
事業報告書

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

## 1. 社協組織の充実と会員の拡大

「地域福祉」とは、高齢になっても障がいがあってもすべての人が、いままで大切にしてきた家族やつながり、地域との関係の中で暮らし続けていくことができるような地域社会を作っていくことです。

この地域福祉の推進を目的とする社会福祉協議会にとって、事業推進においての自主財源確保は大変重要な役割を占めています。

- (1) 理事会、評議員会を開催し情報の共有化を図るとともに、社協関連組織全体での研修会を開催、地域福祉についての理解を深め事業推進に努めた。

### ア. 理事会の開催

第1回	平成26年5月16日
議案第1号	平成25年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第2号	平成25年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について
議案第3号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員の選任同意について
議案第4号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会非常勤職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について
議案第5号	平成26年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)について
議案第6号	大口社協デイサービスセンター運営規程の一部改正について
議案第7号	大口社協訪問介護(介護予防訪問介護)事業所運営規程の一部改正について
議案第8号	大口社協訪問介護事業所運営規程の一部改正について
第2回	平成26年7月29日
議案第9号	大口社協デイサービスセンター運営規程の一部改正について
議案第10号	大口社協訪問介護事業所運営規程の一部改正について
議案第11号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会職員の再雇用に関する要綱の制定について
第3回	平成26年10月24日
議案第12号	平成26年度大口町表彰式に係る被表彰者選考について
議案第13号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会会長の職務を代理する理事の指名について
議案第14号	大口社協デイサービスセンター運営規程の一部改正について
議案第15号	大口社協訪問介護(介護予防訪問介護)事業所運営規程の一部改正について
報告事項	大口町社会福祉協議会定款施行細則第2条に伴う会長の専決事項について

第4回	平成26年11月18日
議案第16号	平成26年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第2号)について
議案第17号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会定款の一部改正について
第5回	平成27年1月27日
議案第18号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会経理規程の全部改正について
議案第19号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会事務決裁規程の一部改正について
第6回	平成27年3月17日
議案第20号	平成26年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第3号)について
議案第21号	平成27年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画について
議案第22号	平成27年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計予算について
議案第23号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会就業規則の一部改正について
議案第24号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会非常勤職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について
議案第25号	大口社協デイサービスセンター運営規程の一部改正について

#### イ. 評議員会の開催

第1回	平成26年5月27日
議案第1号	平成26年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)について
議案第2号	平成25年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第3号	平成25年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について
議案第4号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事の選任について
第2回	平成26年12月1日
議案第5号	平成26年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第2号)について
議案第6号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会定款の一部改正について
第3回	平成27年3月27日
議案第7号	平成26年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第3号)について
議案第8号	平成27年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画について
議案第9号	平成27年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計予算について

ウ. 研修会の開催

- ①社会福祉協議会職員・災害救援ボランティア合同研修  
講師 愛知県防災局 災害対策課支援G 久米 未祐氏

開催日	場所	内容	参加数
9月25日	健康文化センター1階多目的室	「避難所運営ゲーム(HUG)って何？」 ・講義、模擬体験	32名

- ②平成26年度大口町社会福祉協議会合同研修会  
講師 社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 事務局次長 丹羽 則雄氏

開催日	場所	内容	参加数
平成27年 2月20日	健康文化センター1階多目的室	「これからの社会福祉協議会を考える」 ・講義、意見交換	51名

- (2) 社会福祉協議会地域福祉活動強化計画の作成に向けて事務局会議を開催した。  
(3) 自主財源確保に努め、相互扶助推進の高揚を図り、会員募集に努めた。

\*会員募集期間／7月～8月

一般会員 500円・賛助会員 1,000円・法人会員 3,000円

ア. 会員募集加入状況 \*上段は平成26年度実績・下段は平成25年度実績

区分	加入数	金額	増減額	加入率
一般・賛助	5,155件	2,669,500円	▲28,500円	66%
	5,250件	2,698,000円		68%
法人	73件	482,000円	▲54,000円	/
	78件	536,000円		
その他	町外等	4,000円	▲3,600円	
		7,600円		
合計			▲86,100円	
		3,155,500円		
		3,241,600円		

## 2. 広報・啓発活動

町民の方々に広報やホームページなどさまざまな媒体を通して社協情報を発信した。

(1) 広報「社協だより」を年4回発行し情報提供の充実を図るとともに、「広報おおぐち」においても事業の啓発や案内を掲載し情報発信をした。

社協だより発行月 4月・7月・10月・1月

発行部数 8, 300部

(2) 公式ホームページを更新し、見やすい社協をこころがけ、事業を公表、事業の利用及び参加・協力を働きかけた。また、団体等からの依頼により、出前講座形式で事業のPRと啓発に努めた。

(3) 視覚障がい者への音訳サークルによるカセットテープ・CDを利用した「声の広報」サービス、点訳サークルによる点訳サービス及びバリアフリー化支援ソフトを使用したホームページから福祉情報を発信した。

(4) 大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」を開催し、ボランティア団体とともに福祉のPRと啓発に努めた。

ボランティア参加数 10団体 91名

スタンプラリー体験者数 167名

開催日	場所	参加団体	実施内容
11月1日	健康文化センター 西側駐車場	①高齢者疑似体験 うさぎとかめ	装具体験、高齢者体験
		②要約筆記スマイル大口	OHP体験
		③大口町手話サークル	手話体験、クイズ
		④防災ボランティア D・サポート丹羽	防災パネル展示 防災クイズ
		⑤災害救援ボランティア	アルファ米炊き出し
		⑥ボランティアなでしこ	手作り小物展示販売
		⑦大口絆つなぐネット(※)	ひつつみ汁炊き出し
		⑧おもちゃ病院おおぐち	おもちゃ修理
		⑨トヨタ紡織(株)(就労移行 支援あるくを含む)	車いす掃除、古本回収
		⑩大口町共同募金委員会	赤い羽根共同募金 スタンプラリー
11月2日	おもちゃ 図書館	⑪大口おもちゃ図書館 さくら	おもちゃ遊び、バザー

(※) 大口絆つなぐネットのブース内において実施した岩手県遠野市社会福祉協議会・大口町社会福祉協議会 合同災害支援訓練については、「15. 福祉関連事業」(5)の項目で別記

### 3. ボランティア活動の強化と拡大

ボランティアの拡大を図るとともに、行政、NPO、市民活動団体等他の機関との連携を図れるようコーディネートした。

- (1) 町内児童センターにおいて、ボランティアサークルによる出前講座を行い、活動の紹介や福祉教育の推進に努めた。

サークル名 (人数)	開催日	場所	内容	参加数
災害救援 ボランティア (10名)	8月21日	西児童 センター	子ども防災教室 (新聞紙スリッパ作り、三角巾の応急処置、ロープワーク)	56名
大口おもちゃ図書館 さくら (4名)	8月22日	北児童 センター	いろいろなおもちゃの 遊び方を体験しよう！ (紙芝居、木製積木、 バルーン遊び等)	32名
大口町手話サークル コスモス (11名)	8月28日	南児童 センター	手話で遊ぼう！ (簡単な手話の学習、 手話を使ったゲーム、 手話コーラス等)	43名

- (2) 養成講座を開催し、ボランティアの育成やグループの補強及び支援を図った。

ア. 傾聴ボランティア養成講座

講師 傾聴士 早川 一枝氏

成果 ふれあいサロンや福祉施設の傾聴活動において活躍する人材育成と、既存の傾聴ボランティアサークルの補強を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
6月23日	健康文化 センター1階 多目的室	「傾聴の上手なすすめ方技法」 傾聴の基礎 ・ロールプレイ	7名
6月30日	同上	感情に気づく、自己理解と他者受容 ・ワークショップ	3名
7月7日	同上	潜在化している思いを知る ・エゴグラム ・ロールプレイ	7名

イ. ふれあいサロン運転ボランティア養成講座

講師 愛知県県民生活部地域安全課 甲 純一郎氏  
名鉄自動車専門学校 稲波 英敬 氏

成果 ふれあいサロンへ高齢者等を送迎する運転ボランティアを育成し、安全・安心な運転の実践に必要な支援を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
11月12日 午前	健康文化センター1階 多目的室	ストップ・ザ 交通事故 ・交通安全に関するDVD視聴、講義	9名
11月12日 午後	名鉄自動車専門学校	交通安全運転講習 ・教習場・路上コースでの実技指導 ・視野動体測定、動体視力測定	6名

ウ. 回想法基礎研修

講師 NPO法人シルバー総合研究所 日本福祉大学助教 来島 修志氏

成果 ふれあいサロンや福祉施設等において、介護予防・認知症予防に役立つ回想法を実践する人材育成を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
12月21日 午前	健康文化センター1階 多目的室	回想法の体験 ・「懐かしい話に花を咲かせましょう」 を合言葉にしたワークショップ	20名
12月21日 午後	同上	講義 「地域の方々に対する回想法とまちづくり」	

(3) ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修を開催し、平成26年度研修テーマ「健康」について学び相互の交流を深めた。

開催日	場所	内容	参加数
9月19日	東海学園大学 三好キャンパス (みよし市)	スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科教授・健康開発支援センター指導員等による講義、運動指導	31名

(4) 「社協だより」にボランティアコーナー「ボランティア情報局」を掲載し情報を発信した。

(5) ボランティア登録団体への活動育成費を助成した。

助成団体	助成金額
16団体	236,418円

(6) ボランティア連絡協議会定例会を年6回開催し、情報の発信とボランティア相互の交流及び共通のテーマについての研修活動を支援した。

ア. 平成26年度研修テーマ「健康」

定例会	講師	内容
第1回	健康生きがい課 保健師・管理栄養士	健康と栄養に関する講話 「健康でボランティアを続けるために」
第2回	健康生きがい課 歯科衛生士	歯の健康に関する講話 「8020を目指そう！」
第3回	東海学園大学 教授・指導員	講義及び運動教室（ボランティアセンター運営委員会合同研修）
第4回	江南保健所職員	県政お届け講座「お薬との上手な付き合い方を教え隊」
第5回	レクリエーション コーディネーター	「頭と体を上手く使ったリフレッシュレクリエーション」
第6回	株式会社スギヤマ 薬剤師	「薬の飲み方・飲み合わせ・食べ合わせってご存知ですか？」

(7) ボランティア保険の加入及び事故時の保険金請求等の事務手続きを行った。

ア. ボランティア登録者状況

(ボランティア活動保険加入者数)

\* 上段は平成26年度実績・下段は平成25年度実績

	団体数	人数	男性	女性
グループ	58	1,036名	453名	583名
	61	1,032名	416名	616名
個人		14名	6名	8名
		7名	4名	3名
計		1,050名	459名	591名
		1,039名	420名	619名
増減人員		11名	39名	▲28名

イ. 事故件数 2件（ボランティア活動中のケガ）

(8) 町内企業と連携を図り協働事業を行った。

(※) トヨタ紡織(株)との協働事業（ふくしわくわくランド出展）については、  
「3. ボランティア活動の強化と拡大」(4)の項目で別記

(9) ボランティア派遣依頼の調整を行った。

相談件数	派遣件数
20件(※)	8件

(※) 相談件数は、本会の派遣決定を要さない相談・連絡調整のみの件数を含む  
ア. 企業からの依頼によるボランティア派遣  
協力団体 高齢者疑似体験 うさぎとかめ

開催日	場所	内容	参加数
平成27年 3月11日	(株)東海理化 本社	企業が今後実施する地域貢献活動等に役立てるため、従業員を対象に、高齢者の特性についての講義、疑似体験と介助体験を実施した。	10名

イ. 学校からの依頼によるボランティア派遣(平成27年度実績を掲載すること)

## 4. 児童福祉

次世代育成としての子育て支援や小中学校での福祉教室、青少年ボランティア福祉体験学習事業を実施することにより、命の大切さや「ともに生きる」力を育くみ、地域の一員としての自覚が芽生えるよう事業を推進した。

(1) 町内小中学校と協働し福祉教室(福祉実践教室・総合学習)を実施した。  
ア. 参加人数・実施科目等

学校名	学年	教室数	参加人数	実施科目
大口中学校	1年	7教室	225名	知的障がい理解
大口南小学校	3年 ～ 6年	5教室	205名	手話教室(3年)、点字教室(4年)、車いす体験(5年)、盲導犬教室(6年)
大口北小学校	3年	4教室	93名 (延186名)	手話教室、車いす体験、視覚障がい者ガイドヘルプ、盲導犬教室
大口西小学校	6年	7教室	83名 (延415名)	手話教室、点字教室、車いす体験、高齢者疑似体験、視覚障がい者ガイドヘルプ

(2) 子育て支援サークルに助成した。

(3) おもちゃ病院「おおぐち」の活動を支援した。

(4) 青少年等ボランティア福祉体験学習事業を実施した。

期間	場所（町内高齢者及び児童福祉施設等）	参加数
8月21日 ～ 8月27日	①大口社協デイサービスセンター ②大口一期一会荘デイサービスセンター ③南・北・西児童センター ④南・北・西・中保育園 ⑤大口幼稚園、ラ・モーナ幼稚園	延87名 (大口中学校 JVC)

(5) 民生委員児童委員が行うドアノッキング事業に協力し、赤ちゃん訪問時にお祝い品をプレゼントした。

項目	5ヶ月訪問	1歳訪問
配布数（品目）	240名（絵本）	216名（スプーンセット）

(6) 子育てサロン「まむ・まむ」の活動支援を行った。

(※) 「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

(7) 親子や家族で参加できる親子福祉教室（施設見学バスツアー）を実施し、家族で福祉について考える機会を提供した。

見学施設数 10か所（うち施設内見学7か所、給食試食1か所）

開催日	施設種別	見学施設	参加数
8月7日	高齢者認知症対応型グループホーム・デイサービス	大口ケアセンターあかり	19名 (大人10名、 子ども9名)
	高齢者デイサービス 幼児・障がい者等自主事業	デイサービス ゆい	
	高齢者有料老人ホーム	太郎と花子	
	高齢者デイサービス	大口社協デイサービスセンター	
	高齢者認知症対応型グループホーム	じゃがいもグループホームしん・かむおん	
	高齢者ショートステイ、デイサービス	ウエルシア暖らん	
	高齢者特別養護老人ホーム、ショートステイ等	御桜乃里	
	障がい者生活介護、就労継続支援B型等	ハートフル大口	
	高齢者ヘルパー、デイサービス 幼児・障がい者等自主事業	NPO法人わたぼうし	
高齢者生活介護、軽費老人ホーム、デイケアセンター等	ハートフル大口		

## 5. 高齢者福祉

高齢者にかかる地域課題について専門機関、福祉施設、行政、地域関係者との調整を図りながら解決に向けた取組みを展開し、さらに高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすことのできる「地域づくり」の推進や要介護者に対する支援事業の拡大に努めた。

- (1) 民生委員児童委員、ボランティアの協力で、80歳以上の単身高齢者・高齢者世帯を訪問し、おせち料理配布事業を実施した。

実施日 平成26年12月30日

項目	単身高齢者世帯	高齢者世帯	合計
配布数	79世帯	32世帯	111世帯

- (2) 町内対象者、施設入所者に対し「敬老の日」のお祝い品を贈った。

実施日 平成26年9月12日

項目	在宅	施設	合計
配布数	260名	150名	410名

- (3) 「社協だより」に介護者向け情報「介護豆知識」を掲載し、情報を発信した。

- (4) 地域見守り支え合いを考える会に参加し、行政とともに住民同士の見守り体制についての話し合いを支援し、ふれあいサロン活動を紹介した。

項目	第1回	第2回	第3回
余野区	12月6日	1月17日	2月14日
河北区	11月9日	12月21日	1月18日

- (5) 大口町高齢者軽度生活援助事業（ホームヘルパー）を受託した。

- (6) 大口町生きがい活動支援通所事業（デイサービス）を受託した。

- (7) 大口町はつらつ健康体操（いきいき教室）を受託した。

(※) 「14. 在宅福祉サービス3事業所の経営」の項目で別記

## 6. 障がい児者福祉

障がいがあってもいきいきと暮らしやすい地域にしていくことを目指し、専門家による相談事業の充実や外出支援、参加型事業の推進に努めた。

- (1) 大口町障がい者スポーツ大会運営委員会の企画運営で「第30回大口町障がい者スポーツ大会」を開催した。

成果 障がいをお持ちの方とそのご家族が、スポーツをとおして仲間や地域住民、民生委員、ボランティア等と交流し、社会参加の一助となる機会を提供することができた。

開催日	場所	内容	参加数
6月14日	中央公民館 集会室	ナイスシュート、車いす競争 パン食い競争、デカパン競争 玉おくり、玉入れ バンド演奏（丹羽高校吹奏楽部） アトラクション（春日井武将隊） 総踊り（仲沖太鼓クラブ）	297名

- (2) 重度身体障がい者日帰り事業を開催し、外出の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
10月27日	富士見台高原 (長野県)	ヘブンス園原とリンゴ狩り ロープウェイ乗車	17名

- (3) 大口おもちゃ図書館「さくら」の活動を支援した。  
 (4) 弁護士による相談日を設けた。  
 (5) 大口町障害者等地域生活支援事業（移動支援事業）を受託した。  
 (※) 「14. 在宅福祉サービス3事業所の経営」の項目で別記  
 (6) 精神障がい者を対象とするふれあいサロン「フリースペース れんげそう」の運営を支援した。  
 (※) 「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

## 7. 母子父子福祉

ひとり親家庭対象の事業を実施し、生活課題や問題点について検討、相談事業の充実や教育における貸付事業の周知を図りながら、自立支援できる体制づくりを推進した。

- (1) ひとり親家庭日帰り旅行を開催し、親子のふれあいや親同士の交流の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
11月23日	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（大阪府）	ユニバーサル・ワンダー・クリスマス他	18家族 43名

- (2) 母子家庭等に対する就業支援として「就業相談日」を月1回設けた。  
 (3) 母子寡婦福祉会への活動支援及び会員拡大に努めた。  
 (4) 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝いを贈った。

項目	お祝金	件数	合計件数
小学校	3,000円	6件	21件
中学校	3,000円	7件	
高校等	5,000円	8件	

- (5) 母子寡婦福祉資金等貸付制度を紹介し生活を支援した。

## 8. ふれあいサロン事業

ふれあいサロン立ち上げの支援や活動費に対する助成を行いながら、地域の見守り活動や地域の活性化につながるよう運営についての相談や支援を行った。

- (1) サロン設立初年度においての備品助成を行った。  
 (2) サロン開催実績回数（上限24回）に対し助成を行った。  
 (3) サロンに対するボランティア行事用保険の加入手続きを行った。  
 (4) サロン活動に必要な備品の貸出を行った。  
 (5) サロンのPRや広報等ちらしを作成し活動を支援した。  
 (6) 各サロンが一同に会し情報交換できる「ふれあいサロン交流会」を開催した。

開催日	場所	内容	参加数
2月19日	健康文化センター1階多目的室	第1部 サロン紹介、情報交換会 第2部 明日からサロンで使える！レクリエーション講座	28名

ア. 平成26年度ふれあいサロン開催実績

種別	サロン名	開催日	場所	参加数
障がい	フリースペース れんげそう	第2・第4木曜日 13:00～16:00	健康文化センター 4階 和室	延 433 名
傾聴	傾聴サロン わらおうかい 笑桜会	第3火曜日 13:00～15:00	健康文化センター 4階 ふれあい2	延 284 名
子育て	まむ🌸まむ	毎週火曜日 10:00～12:00	健康文化センター 2階 おもちゃ図書館	延 1,131 名
地域 全般	外坪 ほっこり	第2・第4水曜日 9:00～12:00	外坪学習等共同利用 施設 1階	延 511 名
地域 全般	大屋敷新田 いっぷく茶屋	第1土曜日 9:30～11:30	新田集会所	延 542 名
地域 高齢者	上小口萩島 ちやちやかい 茶々会	第2土曜日 13:30～16:00	萩島集会場	延 141 名
地域 全般	さつきヶ丘 サロンさつき	毎週水曜日 10:00～16:00	さつきヶ丘 防災センター	延 2,400 名
地域 高齢者	さつきヶ丘 げんきかい 元気会	第1金曜日 第3火曜日 13:00～15:30	さつきヶ丘 防災センター	延 413 名

## 9. 福祉関係団体の育成・助成

町内福祉団体や広域福祉団体に対し助成金を交付し事業の推進を図った。

団 体 名	金 額
身体障害者福祉協会	450,000 円
心身障害児（者）親の会	110,000 円
更生保護女性会	10,000 円
遺族会	380,000 円
母子寡婦福祉会	80,000 円
保護司会	10,000 円
尾北地域精神障害者家族会（しらゆり会大口支部）	40,000 円
尾北地区聴覚障害者福祉会	10,000 円

## 10. 共同募金

共同募金運動への理解・協力を高めるため、募金の意義についての周知を図り、財源の充実と事業の拡大を進めた。

(1) 大口町共同募金委員会運営委員会を年3回開催し、共同募金事業計画を策定し共同募金運動の推進を図った。

ア. 赤い羽根共同募金：期間10月1日から12月31日

\*上段は平成26年度実績・下段は平成25年度実績

目標額	募金方法別実績額		増減額	達成率	
3,519,000円	戸別	11区	2,521,462円	▲55,188円	96.2%
		11区	2,576,650円		
3,333,000円	法人	3社	348,149円	68,309円	
		5社	279,840円		
	街頭	2回	41,719円	▲34,714円	
		3回	76,433円		
	職域	28社	463,332円	69,498円	
		28社	393,834円		
	その他	3件	13,726円	▲6,369円	
		1件	20,095円		
	合計		3,388,388円	41,536円	
			3,346,852円		

イ. 歳末たすけあい募金：期間12月1日から12月31日

\*上段は平成26年度実績・下段は平成25年度実績

目標額	募金方法別実績額		増減額	達成率	
189,000円	街頭	1回	84,362円	129円	78.8%
		1回	84,233円		
241,000円	職域	16社	51,547円	▲9,869円	
		16社	61,416円		
	法人	0社	0円	▲20,000円	
		2社	20,000円		
	その他	4件	13,091円	3,041円	
		2件	10,050円		
	合計		149,000円	▲26,699円	
			175,699円		

- (2) 共同募金配分金事業の推進と充実を図った。
- (3) 共同募金配分金事業を広くPRをし、協力事業所の拡大と、住民の認識を高めた。特に職域募金について、従業員間で直接募金を呼びかける職域募金活動の輪を広げる「赤い羽根共同募金バトンリレー」を支援した。

ア. 赤い羽根共同募金バトンリレー募金実績

実施事業所	募金額	参加数
リンナイ株式会社	141,017 円	リンナイ株式会社役職員 30 名、 大口町共同募金委員会役職員 5 名

- (4) 町内店舗、ふれあいまつり等において協力団体による街頭募金を実施した。

ア. 街頭募金実績

募金種別	実施場所	募金額	協力・実施団体
赤い羽根 共同募金	アピタ大口店、バロー大口店、ヨシヅヤ大口店	39,894 円	大口町民生委員 児童委員協議会
赤い羽根 共同募金	ふれあいまつり	1,825 円	大口町 共同募金委員会
歳末たすけ あい募金	アピタ大口店、バロー大口店、ヨシヅヤ大口店	84,362 円	大口町 更生保護女性会

(備考：平成 26 年度町民体育祭は中止のため街頭募金活動実施なし)

- (5) 募金機能付自動販売機を設置し募金活動の普及に努めた。

ア. 募金実績

設置場所	募金額
軽費老人ホーム大口一期一会荘 1 階	288,149 円
大口町健康文化センター1 階	

- (6) 災害復興義援金の窓口を設置し、募集・送金を行った。

ア. 送金実績

義援金名称	送金額
東日本大震災義援金	31,926 円
平成 26 年広島県大雨災害義援金	61,440 円
平成 26 年 8 月京都府豪雨災害義援金	5,506 円
7.9 南木曾町豪雨災害義援金	8,168 円
合計	107,040 円

## 1.1. 貸付事業

安定した生活を図るために他の資金の借り入れが困難な所得の低い世帯や、障がい者・高齢者の方を含む世帯にご利用いただく貸付事業を行った。

さらに、貸付世帯に対する貸付後の訪問や相談支援を行いながら、償還指導を包括的に行った。

### (1) 生活福祉資金貸付制度

民生委員の協力を得て、生活福祉資金調査委員会による審査後、愛知県社会福祉協議会への申請手続きを行った。

ア. 相談件数 47 件

項目	福祉資金		不動産担保型生活資金
	福祉費	緊急小口資金	
件数	14 件	32 件	1 件

イ. 生活福祉資金調査委員会開催回数 1 回

ウ. 貸付状況

資金種類		件数	貸付金額(元金) (1)	貸付利子 延滞利子(2)	累計償還額 (3)	*未償還額 (滞納額を含む)(4)
福祉 資金	福祉費	3 件	2,320,000 円	972,459 円	685,830 円	2,606,629 円
	緊急小 口資金	6 件	550,000 円	237,100 円	78,000 円	709,100 円
離職者支援資金		1 件	2,400,000 円	1,109,395 円	57,140 円	3,452,255 円
総合支援資金		5 件	2,934,000 円	316,660 円	199,200 円	3,051,460 円
教育 支援 資金	教育 支援費	9 件	8,427,000 円	29,961 円	5,159,990 円	4,380,971 円
	就学 支度費	4 件	1,084,000 円			
計		28 件	17,715,000 円	2,665,575 円	6,180,160 円	14,200,415 円

\*未償還額 (4)=(1)+(2)-(3)

### (2) 県くらし資金 (愛知県社会福祉協議会 原資 200,000 円)

ア. 貸付状況

\*上段は平成 26 年度実績・下段は平成 25 年度実績

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	*未償還額(3)
7 件	213,000 円	20,000 円	193,000 円
7 件	213,000 円	20,000 円	193,000 円

\*未償還額 (3)=(1)-(2)

(3) 町くらし資金（大口町社会福祉協議会 原資 2,000,000 円）

ア. 貸付状況

\* 上段は平成 26 年度実績・下段は平成 25 年度実績

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	*未償還額(3)
40 件	835,000 円	201,000 円	634,000 円
51 件	1,207,000 円	518,000 円	689,000 円

\*未償還額 (3)=(1)-(2)

(4) 緊急一時貸付等

## 12. 相談事業

専門機関や専門知識を持つ相談員による相談窓口を開設し、日常生活の悩みごとや地域における問題解決のための相談を行った。

(1) 心配ごと相談所

第1水曜日・第3水曜日 午前10時から午後3時30分

県女性相談員、県母子自立支援員（第1水曜日のみ）

第4水曜日 午後1時30分から4時30分

高齢者・障がい者のための弁護士相談

ア. 相談状況 77名（男性4名・女性73名）

相談内容															合計
生計・年金	職業・生業	住宅	家族	結婚・離婚	健康・医療	精神	人権・法律	財産	児童福祉	教育・青少年	心身障がい	ひとり親家庭	高齢者福祉	苦情・その他	
6	2	8	24	35	1	5	1	14	0	0	0	7	1	10	114

(2) 総合福祉相談窓口常設

ア. 相談状況 9名（男性6名・女性3名）

内容		合計
相談	金銭管理	
6 件	233 件	239 件

(3) 日常生活自立支援事業相談窓口常設

ア. 利用契約者数 3名（平成26年度まで基幹的社会福祉協議会との契約）

### 13. 貸出事業

町民、行政区、学校、企業などを対象に各種貸出サービスを行った。

目的：地域コミュニティ・日常生活用具・外出支援・福祉教育・団体活動支援

- (1) 車椅子 (2) 松葉杖 (3) 福祉車両 (4) 綿菓子機  
 (5) ポップコーン機 (6) 福祉教材(点字器・高齢者疑似体験セット・ビデオ)  
 ア. 貸出状況

種 類		種 類		合 計
車イス・松葉杖	139 件	福祉車両	13 件	
	136 件		38 件	
綿菓子機 ポップコーン機	22 件	福祉教材等	13 件	187 件
	20 件		14 件	208 件

### 14. 在宅福祉サービス3事業所の経営

介護保険法や障害者総合支援法における介護サービスのほか、独自サービスや行政からの委託事業などを実施し、在宅生活を支えた。

- (1) 大口社協居宅介護支援事業所（介護・介護予防）  
 (2) 大口社協訪問介護事業所（介護・介護予防・障害者総合支援・独自・委託事業）  
 (3) 大口社協デイサービスセンター（介護・介護予防・独自・委託事業）

ア. 3事業所の実績

\* 上段は平成26年度実績・下段は平成25年度実績

\* 利用者数は、平成27年3月末現在の実利用者数

①大口社協居宅介護支援事業所（介護・介護予防）

区 分	予 防	介護度1～2	介護度3～5	合 計
利用者数 (下段は登録者数)	20 名	39 名	17 名	76 名
	21 名	49 名	32 名	102 名
増 減	▲1 名	▲10 名	▲15 名	▲26 名
収 入	926,487 円	7,620,900 円		8,547,387 円
	773,215 円	7,692,697 円		8,465,912 円
増 減	153,272 円	▲71,797 円		81,475 円

②大口社協訪問介護事業所（介護・介護予防・障害者総合支援・独自・委託事業）

区 分	居 宅 介 護 等	軽 度 生 活 援 助	総 合 支 援	合 計
利用者数 (下段は登録者数)	35名	6名	23名	64名
	48名	9名	39名	96名
増 減	▲13名	▲3名	▲16名	▲32名
収 入	18,139,402円	584,000円	8,845,855円	27,569,257円
	16,396,159円	506,000円	10,117,591円	27,019,750円
増 減	1,743,243円	78,000円	▲1,271,736円	549,507円

③大口社協デイサービスセンター（介護・介護予防・独自・委託事業）

区 分	通 所 介 護	生 き が い 活 動	い き い き 教 室	合 計
利用者数 (下段は登録者数)	㊦13名、㊦17名	10名	16名	56名
	㊦20名、㊦27名	15名	32名	94名
増 減	㊦▲7名、㊦▲10名	▲5名	▲16名	▲38名
収 入	24,456,148円	2,152,500円	3,084,300円	29,692,948円
	22,611,773円	1,804,750円	2,578,300円	26,994,823円
増 減	1,844,375円	347,750円	506,000円	2,698,125円

(4) 毎月経営会議を開催し、経営強化に努めた。

(5) 介護職員の研修会等への参加を促進し、スキルアップやサービスの質の向上に努めた。愛知県ホームヘルパー連絡協議会ブロック別研修会開催に努めた。

## 15. 福祉関連事業

(1) 福祉事業功労の顕彰や講演会等を開催した。

ア. 大口町表彰式典

開催日	場所	顕彰者	参加数
11月22日	健康文化 センター4階 ほほえみホール	社会福祉協議会会長表彰 5名 社会福祉協議会会長感謝 6団体	151名

イ. 愛知県社会福祉大会

開催日	場所	顕彰者	参加数
10月21日	愛知県体育館	社会福祉協議会会長感謝 5名・1団体	顕彰者3名

- (2) 点字投票制度への協力を行う。
- (3) 災害時職員行動マニュアルを作成した。
- (4) 防災関連事業を町より受託し実施した。

ア. 大口町防災訓練（広域水防訓練）における炊き出し訓練

協力団体 災害救援ボランティア、防災ボランティアD・サポート丹羽

実施日	場所	内容	参加数
5月18日	総合運動場	はそりで豚汁300食を調理し、防災訓練参加者へ配布した。	22名 (ボランティア)

イ. 防災講演会

講師 名古屋大学減災連携研究センター長・教授 福和 伸夫氏

協力団体 防災ボランティアD・サポート丹羽

開催日	場所	内容	参加数
6月29日	健康文化センター4階 ほほえみホール	「総力で南海トラフ巨大地震を凌ぐ」と題した講演会を実施し、防災・減災の啓発を行った。	238名

ウ. 大口町防災研修会～避難所運営ゲーム（HUG）～

協力団体 災害救援ボランティア

開催日	場所	内容	参加数
11月30日	健康文化センター1階 多目的室	各行政区の住民代表者を対象として、地域の避難所運営の模擬体験を実施した。	33名

- (5) 東日本大震災復興支援事業により岩手県遠野市社会福祉協議会と「災害時相互応援協定」を締結した。

ア. 「社会福祉法人遠野市社会福祉協議会・社会福祉法人大口町社会福祉協議会 災害時相互応援協定」調印式

実施日	場所	内容	参加数
5月24日	あえりあ遠野 (岩手県遠野市)	いずれかの県域で災害が発生した時、社協が相互に応援することを定める協定を締結した。遠野市長と大口町行政立会のもと、協定書の調印式を行った。	17名 (両社協・行政関係者)

イ. 岩手県遠野市社会福祉協議会・大口町社会福祉協議会 合同災害支援訓練  
協力団体 大口絆つなぐネット

実施日	場所	内容	参加数
11月1日	健康文化センター西側駐車場 (ふれあいまつり会場内)	「災害時相互応援協定」に基づき、遠野市社協関係者が来町し、被災地後方支援活動を想定した合同災害支援訓練を実施した。炊き出し訓練として、はそりでひつつみ汁250食を調理し、ふれあいまつり来場者へ配布した。	21名 (両社協・大口絆つなぐネット関係者)

(6) その他社会福祉事業に必要な事業を推進した。

ア. 平成26年度西尾張ブロックボランティアフェスティバル

実施日	場所	内容	参加数
12月7日	飛島村中央公民館	「笑顔をありがとう」をテーマに、14市町村のボランティア活動の発表と相互交流、講演会等を実施した。大口町からは、ボランティアなでしこが手作り小物の販売ブースを出展した。	778名 (うち大口町15名)

イ. 平成26年度3市2町社会福祉協議会連絡協議会

実施日	場所	内容
8月4日	岩倉市ふれあいセンター	会長・事務局長会議 ・平成25年度事業報告・決算報告及び平成26年度事業計画・予算(案)等について
9月19日	岩倉市ふれあいセンター	第1回経理事務職員勉強会 ・新会計基準移行について
12月19日	岩倉市生涯学習センター	第1回職員研修会 ・講師 日本福祉大学学長補佐 原田 正樹氏 「地域包括ケアシステムと社協のソーシャルワーク」

(7) 社会福祉事業に関する福祉サービス苦情解決制度により、苦情解決を行った。

ア. 第三者委員への苦情報告件数 2件